

平成 26 年 12 月

財政のあらまし

平成 25 年度決算の概要

平成 26 年度上半期の財政運営の状況

平成 26 年度上半期の公営企業の業務の状況

ま え が き

大阪府の財政事情につきましては、毎年6月と12月にそのあらましを公表しており、今回は、平成25年度決算の概要と平成26年4月1日から9月30日までの期間における財政運営の状況を中心に公表します。

まず、平成25年度一般会計決算では、2年連続で府税収入が増加し、リーマンショック前のおよそ8割程度まで回復しました。また、予算要求段階における部局長マネジメントの一層の発揮、監査結果の尊重等の考え方にに基づき、事務事業の積極的な見直しを行うとともに、「財政構造改革プラン（案）」の着実な実行に努めたことなどにより、実質収支は224億円となり、6年連続で黒字を維持しました。

次に、平成26年度当初予算では、社会情勢の変化等に柔軟に対応しながら、これまで進めてきた“変革と挑戦”の取組みを継承・発展・定着させ、“大阪の再生”をめざすという考え方のもと、財政運営基本条例や「府政運営の基本方針2014」を踏まえ、徹底した「選択と集中」による施策の重点化を図りました。

しかし、社会保障分野をはじめ国が地方に負担を義務付ける経費の拡大など、大阪府の財政は引き続き非常に厳しい環境にあります。こうした状況の中にあつて、南海トラフ巨大地震対策を中心とした防災や減災対策、特区・インフラ整備などにより、東西の二極の一極を担う“強い大阪”を実現していくためには、財政規律を堅持しつつも、府政の喫緊の課題に的確に対応していく必要があります。

府民の皆様におかれましては、大阪府の厳しい財政の実情についてご理解をいただきますとともに、府政の推進に一層のご協力をお願いいたします。

平成26年12月

大阪府知事 松 井 一 郎

目 次

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| 平成 25 年度決算の概要 | 1 |
| あらし | 1 |
| 決算にみる府の財政構造 | 2 |
| 一般会計 | 3 |
| 歳入 | 4 |
| 歳出 | 7 |
| 特別会計 | 10 |
| 翌年度繰越額 | 11 |
| 繰越明許費 | 11 |
| 事故繰越し | 11 |
| 平成 25 年度決算に基づく健全化判断比率等について | 12 |
| | |
| 平成 26 年度上半期の財政運営の状況 | 19 |
| あらし | 19 |
| 一般会計 | 20 |
| 予算の推移 | 20 |
| 予算の執行状況 | 21 |
| 特別会計 | 24 |
| 予算の推移 | 24 |
| 予算の執行状況 | 24 |
| | |
| 府民の負担の状況 | 25 |
| | |
| 府有財産、府債及び一時借入金 | 26 |
| 府有財産 | 26 |
| 府債 | 27 |
| 一時借入金 | 27 |
| | |
| 平成 26 年度上半期の公営企業の業務の状況 | 28 |
| 大阪府まちづくり促進事業 | 28 |
| 大阪府中央卸売市場事業 | 30 |
| | |
| <hr/> | |
| 平成 25 年度 財務諸表 | 32 |
| 各会計合算財務諸表 | 33 |
| 全会計財務諸表 | 48 |
| 連結財務諸表 | 57 |
| <hr/> | |
| 付表 | 72 |
| <hr/> | |
| 用語の解説 | 82 |
| <hr/> | |